

(様式第 10)

3 岐大病総第 098 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人東海国立大学機構
機構長 松尾 清一

岐阜大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒464-8601 愛知県名古屋市中種区不老町 1 番
氏 名	国立大学法人東海国立大学機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

岐阜大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1	電話(058)230-6000
-----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

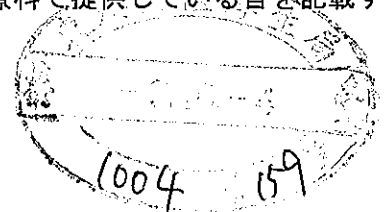
4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。



(2) 外科

外科	○ ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 ③乳腺外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 4心臓外科 8小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	○ ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1血液・感染症内科	2脳神経内科	3形成外科	4病理診断科	5リハビリテーション科					
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21				

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
37床	床	床	床	577床	614床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	358人	22.6人	380.6人	看 護 補 助 者	46人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	8人	0.7人	8.7人	理 学 療 法 士	23人	臨床検査技師	54人
薬 剤 師	46人	0.9人	46.9人	作 業 療 法 士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	1人	0人	1人	視 能 訓 練 士	5人	その他	0人
助 産 師	23人	2.1人	25.1人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	621人	24.7人	645.7人	臨 床 工 学 士	15人	医療社会事業従事者	7人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	13人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	207人
管理栄養士	14人	0.7人	14.7人	診 療 放 射 線 技 師	47人	その他の職員	48人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	25人	眼 科 専 門 医	7人
外 科 専 門 医	29人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	7人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	15人
小 児 科 専 門 医	15人	脳 神 経 外 科 専 門 医	8人
皮 膚 科 専 門 医	3人	整 形 外 科 専 門 医	15人
泌 尿 器 科 専 門 医	8人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	14人	救 急 科 専 門 医	19人
		合 計	188人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(吉田 和弘) 任命年月日 平成 30年 4月 1日

平成 29年 2月 1日より医療安全管理委員会委員として医療安全管理業務に携わっている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	461.6人	8.4人	470.0人
1日当たり平均外来患者数	1244.5人	72.5人	1317.0人
1日当たり平均調剤数	896剤		
必要医師数	119.9人		
必要歯科医師数	6.0人		
必要薬剤師数	16.0人		
必要(准)看護師数	280.0人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	137.23m ²	鉄筋コンクリート	病床数	6床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 144.21m ² [移動式の場合] 台数 7台		病床数	14床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 54.63 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	368m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	106m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動細菌検査装置			
病理検査室	352m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生物顕微鏡、病理診断システム			
病理解剖室	252m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ルーム型遺体保冷库			
研究室	711m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 超低温フリーザ、分析装置、滅菌装置など			
講義室	656m ²	鉄筋コンクリート	室数	11室	収容定員	427人
図書室	42m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	168,500冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	77.1%	逆紹介率	79.7%
算出根拠	A：紹介患者の数			9,225人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,155人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,570人
	D：初診の患者の数			13,994人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
富田 栄一	岐阜市民病院	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/>	1
中西 敏夫	弁護士法人森川・鈴木法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/>	1
清住 一孝	柳戸会		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="radio"/>	2
王 志剛	岐阜大学		機構長が指名する副学長	<input checked="" type="radio"/> ・無	3
青木 昇平	つかさ会		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="radio"/>	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> ・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> ・無
公表の方法 岐阜大学医学部附属病院ホームページ (https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/guide/gaibu_kansa.html)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
先進医療A 実績なし	
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃癌(HER2が陽性のものに限る。)	0人
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法早期乳がん(直径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	0人
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅡ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅲ因子製剤静脈内投与療法 脳出血(発症から二時間以内のものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

先進医療B 4種類あり

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
実績なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	43
2	筋萎縮性側索硬化症	40	57	特発性拡張型心筋症	11
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	2
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	26	60	再生不良性貧血	15
6	パーキンソン病	91	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	30
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	11
11	重症筋無力症	57	66	IgA 腎症	5
12	先天性筋無力症候群	1	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	59	68	黄色靱帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	17	69	後縦靱帯骨化症	38
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロー・深瀾症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	39
17	多系統萎縮症	21	72	下垂体性ADH分泌異常症	8
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	40	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	29	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	48
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	18	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	55
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	21
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	6
32	自己食空胞性ミオパチー	1	87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	2
34	神経線維腫症	18	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	4
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	17	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	9
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	8	96	クローン病	85
42	結節性多発動脈炎	4	97	潰瘍性大腸炎	143
43	顕微鏡的多発血管炎	28	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	14	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	4	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	2	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	180	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	83	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	121	106	クリオピリン関連周期熱症候群	2
52	混合性結合組織病	22	107	全身型若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	26	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	6	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	P CDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無リボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	5
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	12
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	8
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	2
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	1	300	IgG4関連疾患	15
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	27

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	ケチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
オンライン診療料	がん拠点病院加算の1のイ(がん診療連携拠点病院加算)
地域歯科診療支援病院歯科初診料	栄養サポートチーム加算
歯科外来診療環境体制加算	医療安全対策加算1
特定機能病院入院基本料 一般(7:1)	感染防止対策加算1
特定機能病院入院基本料 精神(13:1)	感染防止対策地域連携加算
臨床研修病院入院診療加算 医科(基幹型)	抗菌薬適正使用支援加算
臨床研修病院入院診療加算 歯科(単独型又は管理型)	患者サポート体制充実加算
救急医療管理加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
超急性期脳卒中加算	ハイリスク妊娠管理加算
妊産婦緊急搬送入院加算	ハイリスク分娩管理加算
診療録管理体制加算1	呼吸ケアチーム加算
医師事務作業補助体制加算1 15対1	後発医薬品使用体制加算1
急性期看護補助体制加算(25:1) 看護補助者5割以上	病棟薬剤業務実施加算1
夜間100対1急性期看護補助体制加算	データ提出加算2
夜間看護体制加算	入退院支援加算1
看護職員夜間12対1配置加算1	地域連携診療計画加算 入退院支援加算注4
看護補助加算2(50対1) 精神病棟	認知症ケア加算2
療養環境加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
重症者等療養環境特別加算1	入院時支援加算
無菌治療室管理加算1	精神疾患診療体制加算1 2
無菌治療室管理加算2	精神科急性期医師配置加算2
緩和ケア診療加算	地域歯科診療支援病院入院加算
精神科応急入院施設管理加算	地域医療体制確保加算
精神科身体合併症管理加算	救命救急入院料3(注3、注5、注7の加算)
精神科リエゾンチーム加算	特定集中治療室管理料1(注5早期栄養介入管理加算)
摂食障害入院医療管理加算	新生児特定集中治療室管理料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
新生児治療回復室入院医療管理料	
小児入院医療管理料2(注2の加算)	
入院時食事療養()	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料 注2	薬剤管理指導料
外来栄養食事指導料1 イ	医療機器安全管理料2
心臓ペースメーカー指導管理料 植込型除細動器移行加算	医療機器安全管理料(歯科)
心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算	精神科退院時共同指導料
高度難聴指導管理料	歯科治療総合医療管理料()及び()
糖尿病合併症管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
がん患者指導管理料 イ	造血器腫瘍遺伝子検査
がん患者指導管理料 ロ	遺伝学的検査
がん患者指導管理料 ハ	骨髄微小残存病変量測定
がん患者指導管理料 ニ	BRCA1/2遺伝子検査2 血液検体
外来緩和ケア管理料	がんゲノムプロファイリング検査
移植後患者指導管理料 臓器移植後	特殊分析 先天性代謝異常症検査 イロハ
移植後患者指導管理料 造血幹細胞移植後	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
糖尿病透析予防指導管理料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)(抗体特異性同定検査)
小児運動器疾患指導管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算()
腎代替療法指導管理料	検体検査管理加算()
婦人科特定疾患治療管理料	国際標準検査管理加算
外来リハビリテーション診療料	遺伝カウンセリング加算
外来放射線照射診療料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん治療連携計画策定料	植込型心電図検査
がん治療連携管理料の1	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
外来がん患者在宅連携指導料	ヘッドアップティルト試験
肝炎インターフェロン治療計画料	皮下連続式グルコース測定(一連につき)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
長期継続頭蓋内脳波検査	CT撮影及びMRI撮影(16以上64列未満のマルチスライスCT)3台目(血管造影室)
筋電図検査 単線維筋電図	CT撮影及びMRI撮影(64以上マルチスライスCT)4台目(第2CT室)
神経学的検査	CT撮影及びMRI撮影(64列以上のマルチスライスCT)5台目(第1CT室)
補聴器適合検査	冠動脈CT撮影加算(第1CT室(64列)・第3CT室(64列))
全視野精密網膜電図	外傷全身CT加算(第1CT室(64列)・第3CT室(64列))
黄斑局所網膜電図	大腸CT撮影加算(第1CT室)
ロービジョン検査判断料	大腸CT撮影加算(第2CT室)
コンタクトレンズ検査料1	大腸CT撮影加算(第3CT室)
小児食物アレルギー負荷検査	心臓MRI撮影加算
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)併用法	乳房MRI撮影加算
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)単独法	小児鎮静下MRI撮影加算
CT透視下気管支鏡検査加算	頭部MRI撮影加算
有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	全身MRI撮影加算
精密触覚機能検査	外来化学療法加算1
画像診断管理加算3	連携充実加算
ポジトロン断層撮影	無菌製剤処理料
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	心大血管疾患リハビリテーション料()
血流予備量比コンピューター断層撮影 第1CT	心大血管疾患リハビリテーション料 初期加算
血流予備量比コンピューター断層撮影 第2CT	脳血管疾患等リハビリテーション料()
血流予備量比コンピューター断層撮影 第3CT	脳血管疾患等リハビリテーション料 初期加算
CT撮影及びMRI撮影 3テスラ (第1MRI)	廃用症候群リハビリテーション料()
CT撮影及びMRI撮影 3テスラ (第2MRI)	廃用症候群リハビリテーション料 初期加算
CT撮影及びMRI撮影 1.5テスラ (第3MRI)	運動器リハビリテーション料()
CT撮影及びMRI撮影 1.5テスラ (第4MRI)	運動器リハビリテーション料 初期加算
CT撮影及びMRI撮影(64列以上のマルチスライスCT)1台目(第3CT室)	呼吸器リハビリテーション料()
CT撮影及びMRI撮影(16以上64列未満のマルチスライスCT)2台目(CTシミュレータ室)	呼吸器リハビリテーション料 初期加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
摂食嚥下支援加算	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
がん患者リハビリテーション料	人工中耳植込術
集団コミュニケーション療法料	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
歯科口腔リハビリテーション料2	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 型(拡大副鼻腔手術)
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調治療指導管理料に限る。)	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)
救急患者精神科継続支援料	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
医療保護入院等診療料	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
硬膜外自家血注入	下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
導入期加算2及び腎代替療法加算	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
一酸化窒素吸入療法	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
手術用顕微鏡加算	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
口腔粘膜処置	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) 一次二期の再建及び二次再建
CAD/CAM冠	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科技工加算1及び2(床義歯修理(1床につき))	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術)	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
皮膚移植術(死体)	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	経皮的冠動脈形成術
椎間板内酵素注入療法	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	経皮的冠動脈ステント留置術
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算(頭蓋内腫瘍摘出術)	胸腔鏡下弁置換術
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	胸腔鏡下弁形成術
脳刺激装置交換術	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術(植込型心電図記録計移植術)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術(植込型心電図記録計摘出術)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
両室ペース機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペース機能付き植込型除細動器交換術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
補助人工心臓	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
経皮的動脈遮断術	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
ダメージコントロール手術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 子宮付属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)	輸血管理料
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡支援機器を用いる場合)	輸血適正使用加算
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	貯血式自己血輸血管理体制加算
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	自己生体組織接着剤作成術
体外衝撃波胆石破砕術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)	自己クリオプレシペート作製術(用手法)
腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)	同種クリオプレシペート作成術
体外衝撃波脾石破砕術	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	歯周組織再生誘導手術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	歯根端切除手術の注3
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	口腔粘膜血管腫凝固術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	レーザー機器加算
同種死体腎移植術	麻酔管理料()
生体腎移植術	麻酔管理料()

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
実績なし	
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 9 例 / 剖検率 3 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代画像診断に基づく放射線治療技術の開発	松尾 政之	放射線科	2,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
集学的な機能ゲノミクスによる希少MODYの成因探索	堀川 幸男	医療連携センター	2,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨格発生及び骨軟骨疾患における好気性・嫌気性ATP生合成の関与に関する解析	秋山 治彦	整形外科	3,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア代謝をイメージングバイオマーカーとする早期画像診断法の開発	兵藤 文紀	放射線科	3,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
間質液排泄機構にかかわる血管内皮グリコカリックスの機能解析	岡田 英志	高次救命治療センター	4,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脳出血に対する新規治療としての低酸素・低糖刺激ミクログリア療法の検討	下畑 享良	脳神経内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
インターロイキン36関連分子の構造解析による臨床応用への展開	大西 秀典	小児科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝が肝内胆管発癌に及ぼす影響:新規マウスモデル樹立と発癌機序解明	白上 洋平	第1内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
心腸連関に着目した心不全治療戦略 心筋オートファジーにおけるGLP-1の重要性	金森 寛充	第2内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
開心術前後の心拍応答に及ぼす交感神経活性の影響:運動耐用能の改善を目指して	土井 潔	心臓血管外科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
急性高血糖における脳血管内皮機能と麻酔薬の関係の検討	福岡 尚和	麻酔科疼痛治療科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
周術期ビッグデータを活用した手術患者アウトカムに及ぼす臨床指標の探索	長瀬 清	手術部	400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
経腸栄養が腸管環境に与える影響の基礎医学的検討	吉田 隆浩	高次救命治療センター	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
低分子ヘパリンを用いた骨DDSの開発と骨再生研究	野澤 聡	整形外科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

小計14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒアルロン酸の変形性関節症に関する分子生物学的解析	松本 和	整形外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞誘導未分化Schwann細胞による新規末梢神経再生医療に関する研究	平川 明弘	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
淋菌薬剤感受性サーベイランスによる薬剤耐性淋菌検出および耐性機序、分子型別の検討	安田 満	生体支援センター	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	森重 健一郎	産科婦人科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リコンビナント・インブリード系マウスを用いた膠原病治療モデルのゲノム病理学的解析	宮崎 龍彦	病理部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸動脈エコー動画解析による動脈硬化度の定量 - 生活習慣病・膠原病での検討 -	森田 浩之	総合内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
民族間差異を超えた統合失調症と知的機能における遺伝的共通性の解明	大井 一高	精神科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌の酸化還元代謝に基づく早期診断法の開発	野澤 麻枝	放射線科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-18ペプチド阻害分子の薬効増強・安定化へむけた立体構造・機能解析	加藤 善一郎	小児科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アレルギーワクチン開発を目的とした食物アレルゲンエピトープの網羅的解析手法の確立	川本 典生	新生児集中治療部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝筋相関制御による新規肝不全および肝発癌予防法の開発	白木 亮	第1内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規HBV感染症モデルを用いた治療的ワクチン療法の開発	伊藤 弘康	第1内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体組成解析を基盤とする慢性肝疾患患者の包括的治療戦略	清水 雅仁	第1内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性皮膚疾患の病態におけるプログランユリンの役割	清島 真理子	皮膚科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌における5FU作用機序の違いによる耐性機序の違いとその克服	森 龍太郎	医療情報部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メイズ手術前後の左房形態及び左房機能とその経時的推移：MRIを用いた評価法の確立	石田 成吏洋	心臓血管外科	400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
骨粗鬆症性疼痛に対する鎮痛薬の骨リモデリングへの影響とその分子メカニズムの解明	飯田 宏樹	麻酔科疼痛治療科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
敗血症におけるエンドトキシン吸着療法の機序解明	土井 智章	高次救命治療センター	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞分泌因子を用いた新たな神経保護療法の研究と開発	江頭 裕介	脳神経外科	1,200,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト歯髄細胞および歯髄由来多能性幹細胞に由来するエクソソームの性質と機能の検索	畠山 大二郎	歯科口腔外科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
口腔がん細胞株におけるPD-L1制御因子の検索	加藤 恵三	歯科口腔外科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
小児がん患者に対する口内炎予防薬ポラプレジック含有粘膜炎付着性フィルム製剤の開発	鈴木 昭夫	薬剤部	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
癌の増殖・浸潤・転移におけるグリコカリックスの機能的な役割の解明	富田 弘之	病理部	1,400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
Diagnostic stewardship整備に向けた微生物検査診断の質的分析	馬場 尚志	生体支援センター	400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
肥満に関連した大腸発癌における分子異常とDNAメチル化の解明	久保田 全哉	第1内科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌に対する過酸化水素局注による放射線増感作用の検討：新規治療法の確立を目指して	岩下 拓司	第1内科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒトMuse細胞の心筋梗塞後心筋保護効果に関する研究	山田 好久	第2内科	1,500,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
癌細胞の不良ミトコンドリア由来活性酸素種を標的にした新規癌治療法の開発	二村 学	乳腺外科	1,800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
無人航空機(ドローン)を活用した救命システムの構築	名知 祥	高次救命治療センター	1,900,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
新規治療法開発を目指したクモ膜下出血後白質神経傷害の解明	岩間 亨	脳神経外科	1,300,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
免疫・ストレス応答からみたメニエール病の聴力予後因子の検討	青木 光広	耳鼻咽喉科	1,400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
HLAハプロタイプホモ歯髄細胞由来エクソソームの炎症性疾患への応用	川口 知子(武田知子)	歯科口腔外科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
低酸素下におけるヒト歯髄細胞および多能性幹細胞由来エクソソームの性状と機能の解析	飯田 一規	歯科口腔外科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
電子カルテシステムによる院内転倒の予測自動化に関する研究	林 祐一	脳神経内科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
分光スペクトルイメージ技術を用いた革新的な医薬品鑑査システムの開発	小林 亮	薬剤部	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
グルコース活性化転写因子による酢酸代謝調節機構の解明と肥満予防への展開	飯塚 勝美	生体支援センター	1,300,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
トリプトファン代謝に着目した癌免疫療法抵抗性の病態解明	二宮 空暢	輸血部	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
超高感度化MRIによる5mm径肺癌検出プロトコルの構築	野田 佳史	放射線科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
抗IgLON5抗体関連疾患の臨床スペクトラムの解明と治療法の確立	木村 暁夫	脳神経内科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
臨床応用を目的としたダイナミックリンパ流イメージング法の開発	棚橋 裕吉	放射線部	400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
内因性Muse細胞誘導因子S1PR2 agonistによる梗塞後心筋組織修復再生	湊口 信吾	第2内科	600,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
乾癬におけるProgranulinの作用機序の解明	水谷 陽子	皮膚科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
体液量増加と血管内皮グリコカリックス障害の関連についての考察	吉田 省造	高次救命治療センター	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
高気圧酸素療法は薬物濃度に影響する	神田 倫秀	高次救命治療センター	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
腱再生を制御する分子制御機構の解明による腱再生能力賦活化治療の開発	河村 真吾	整形外科	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トリプトファンによる造血管腫瘍制御と新規治療法の開発	松本 拓郎	第1内科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
集中治療患者の上腸間膜動脈の血流に対する鍼灸治療の効果の検討	松本 淳	第2内科	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
体液貯留による血管内皮障害を介した浮腫形成を予防する新規治療戦略の開発	内藤 順子	第2内科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
特発性小脳失調症の臨床像と病態の解明に向けた抗神経抗体の検索と対応抗原の同定	吉倉 延亮	脳神経内科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
膵線維化および膵発癌過程における膵貯蔵レチノイドの役割	小澤 範高	第1内科	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
HSD10病における分子生物学的機能解析法の確立	笹井 英雄	新生児集中治療部	1,700,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
心筋炎における微小炎症環境での動的ガレクチン3の役割の解明	館 正仁	高次救命治療センター	1,300,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
心不全における血管内皮グリコカリックスの超微形態学的検討	福田 哲也	高次救命治療センター	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
長管骨/骨盤骨折に合併する脳脂肪塞栓症の発生頻度の解明と治療法の開発	三宅 喬人	高次救命治療センター	900,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
びまん性神経周囲浸潤をきたす新規マウスグリオーマモデルを用いた新規治療法の開発	宮居 雅文	脳神経外科	1,700,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
組織学的解析に基づいたドップラ超音波血流速による肩腱板断裂の疼痛指標の開発	寺林 伸夫	整形外科	1,200,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
肺癌に対するがんワクチン開発に向けた、がん抗原に関する基盤データの取得	小室 裕康	呼吸器外科	2,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
マイクロ流路回路搭載ウェアラブルデバイスによる血中乳酸モニタリング法の新規開発	渡邊 崇量	検査部	1,200,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
腎垂全摘モデルマウスを用いた運動療法による血管内皮グリコカリックス保護効果の検討	成瀬 元気	第2内科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
MEGを用いた統合失調症、自閉スペクトラム症の多感覚統合異常の検討	杉山 俊介	精神科	2,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高感度水動態の可視化技術の開発と腹膜播種モデルへの応用	水野 希(高木希)	放射線科	1,600,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
医療費削減・安全性向上を実現するRadio Pack Embolizationの開発	川田 紘資	放射線科	1,400,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
ケトン性低血糖症の病因としてのPHKA2遺伝子p.G991Aバリエーションの意義	堀 友博	小児科	900,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
癌の進展とone carbon metabolismを介したエピゲノム変化の関連	大西 紘太郎	生体支援センター	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
血管内皮グリコカリックスの菲薄化が炎症細胞動態に与える影響についての検討	柿野 圭紀	高次救命治療センター	1,200,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
高濃度酸素投与による肺線維化と血管内皮グリコカリックスの関連についての考察	北川 雄一郎	高次救命治療センター	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
出血性ショックによる多臓器不全における血管内皮グリコカリックスの超微形態学的検討	山田 法顕	高次救命治療センター	1,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
横紋筋融解症を起因とする多臓器障害に対するアンチトロンビンの効果の検討	岡本 遥(池庄司)	高次救命治療センター	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
膵炎における膵毛細血管内皮障害とその修復機構の解明	安田 立	高次救命治療センター	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
出血性脳卒中の新たな治療ターゲットとしてのferroptosisの解明	松原 博文	脳神経外科	1,700,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
がん糖代謝能に基づいた頭頸部がん微小環境における免疫状態の解析	大橋 敏充	耳鼻咽喉科	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
Lrrc34 Creマウスを用いた唾液腺腺房細胞の自己複製能力の検証	石田 和久	歯科口腔外科	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
口腔癌におけるARID1A遺伝子変異の意義および機能解析	武内 勝章	歯科口腔外科	1,600,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
臨床応用を目的とする酸素・代謝を指標とする新たな分子画像診断技術の国際共同開発	松尾 政之	放射線科	1,800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	吉田 和弘	消化器外科	12,090,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計15件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難ブラ標準レジストリーを使用し、新生児マススクリーニング対象疾患等の遺伝子変異を考慮したガイドライン改定に向けたエビデンス創出研究	笹井 英雄	新生児集中治療部	12,385,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬剤耐性淋菌感染症の対策に資する研究	安田 満	生体支援センター	1,500,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬剤耐性 性感染症治療薬の探索	安田 満	生体支援センター	7,060,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策推進に関する研究	安田 満	生体支援センター	3,846,154	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
院内感染対策等研究事業	村上 啓雄	生体支援センター	838,200	補 委 岐阜県

小計5件
計94件

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記す。
 - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ishihara T, Takasugi N, Naruse G, et al.	第2内科	Adenosine-induced atrial fibrillation arising from arrhythmogenic right atrial appendage	J Cardiovasc Electrophysiol, 2020, 31(1), 234-235	Original Article
2	Watanabe T, Okada H, Kanamori H, et al.	第2内科	In situ nuclear DNA methylation in dilated cardiomyopathy: an endomyocardial biopsy study	ESC Heart Fail, 2020, 7(2), 493-502	Original Article
3	Takasugi N, Kubota T, Okura H.	第2内科	"Nonsignificant" early repolarization pattern on postresuscitation ECG as a harbinger of impending electrical storm	Ann Noninvasive Electrocardiol, 2020, 25(3), e12686	Original Article
4	Takasugi N, Kubota T, Okura H.	第2内科	Wide QRS Complexes in an Asymptomatic Elderly Man With Permanent Atrial Fibrillation	Circulation, 2020, 141(20), 1656-1661	Original Article
5	Hayashi M, Sahashi Y, Baba Y, et al.	第2内科	COVID-19-associated mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion	J Neurol Sci, 2020, 415, 116941	Letter
6	Okura H.	第2内科	Subclinical diastolic dysfunction in diabetes: how to detect, how to manage?	Eur Heart J Cardiovasc Imaging, 2020, 21(8), 885-886	Others
7	Ogura H, Kimata R, Mitta S, et al.	心臓血管外科	Neovascularization in pericarditis: a possible etiology of hemopericardium	Gen Thorac Cardiovasc Surg., 2020, 68(4), 392-395	Case report
8	Komura S, Satake T, Goto A, et al.	整形外科	Induced pluripotent stem cell- derived tenocyte-like cells promote the regeneration of injured tendons in mice	Sci Rep, 2020, 10(1), 3992	Original Article
9	Komura S, Hirakawa A, Masuda T, et al.	整形外科	Chronological changes in surgical outcomes after trapeziectomy with ligament reconstruction and tendon interposition arthroplasty for thumb carpometacarpal osteoarthritis	Orthop Traumatol Surg Res., 2020, 106(2), 357-364	Original Article

小計9件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
10	Sugiyama T, Fushimi K, Nagano A, et al.	整形外科	The malignant transformation of osteoid osteoma in the cervical spine to high-grade osteosarcoma: a case report and review of literature	Br J Neurosurg, 2020, 3, 1-5	Case report
11	Kawashima K, Terabayashi N, Asano H, et al.	整形外科	Classification of stress fractures of the first rib in adolescent athletes	J Pediatr Orthop B, 2020, 29(4), 409-411	Original Article
12	Matsumoto K, Ogawa H, Yoshioka H, et al.	整形外科	Differences in patient-reported outcomes between medial opening-wedge high tibial osteotomy and total knee arthroplasty	J Orthop Surg (Hong Kong), 2020, 28(1), 2309499019895636	Original Article
13	Matsumoto K, Ogawa H, Akiyama H	整形外科	Radiographic characteristics of the hip joint in skeletally mature patients with multiple hereditary exostoses	Skeletal Radiol, 2020, 49(11), 1773-1779	Original Article
14	Matsumoto K, Ogawa H, Nozawa S, et al.	整形外科	An analysis of osteoporosis in patients with hereditary multiple exostoses	Osteoporos Int, 2020, 31(12), 2355- 2361	Original Article
15	Kawashima K, Ogawa H, Komura S, et al.	整形外科	Heparan sulfate deficiency leads to hypertrophic chondrocytes by increasing bone morphogenetic protein signaling	Osteoarthritis Cartilage, 2020, 28(11), 1459-1470	Original Article
16	Kawashima K, Terabayashi N, Asano H, et al.	整形外科	Lipoma Arborescens of the Subdeltoid Bursa Associated With Rotator Cuff Tear: A Case Report	Journal of Diagnostic Medical Sonography, 2020, 36(4), 353-356	Case report
17	Mizutani Y, Mizutani YH, Matsuyama K, et al.	皮膚科	Generalized pustular psoriasis in pregnancy, successfully treated with certolizumab pegol	J Dermatol, 2020, 47(7), e262-e263	Case report
18	Mizutani Y, Fujii K, Kawamura M, et al.	皮膚科	Intensive granulocyte and monocyte adsorption apheresis for generalized pustular psoriasis	J Dermatol, 2020, 47(11), 1326-1329	Original Article
19	Ito M, Moriya C, Matsuyama K, et al.	皮膚科	A case of dermatomyositis coexisting with both anti-Mi-2 and anti-NXP-2 antibodies	Case Rep Dermatol, 2020, 12(2), 92-97	Case report
20	Hata T, Furusawa-Horie T, Arai Y, et al.	皮膚科	Studies of royal jelly and associated cross-reactive allergens in atopic dermatitis patients	PLoS One, 2020, 15(6), e0233707	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
21	Niwa H, Kanno Y, Shu E, et al.	皮膚科	Decrease in matrix metalloproteinase 3 activity in systemic sclerosis fibroblasts causes 2 antiplasmin and extracellular matrix deposition, and contributes to fibrosis	Mol Med Rep, 2020, 22(4), 3001-3007	Original Article
22	Mizutani Y, Kanbe A, Ito H, et al.	皮膚科	Activation of STING signaling accelerates skin wound healing	J Dermatol Sci, 2020, 97(1), 21-29	Original Article
23	Fujii K, Takahashi T, Matsuyama K, et al.	皮膚科	Impetigo herpetiformis with a CARD14 Thr79Ile variant successfully treated with granulocyte and monocyte adsorption apheresis	J Dermatol, 2020, 47(3), e84-e85	Case report
24	Fujii K, Yamamoto Y, Mizutani Y, et al.	皮膚科	Indoleamine 2,3-dioxygenase 2 deficiency exacerbates imiquimod-induced psoriasis-like skin inflammation	Int J Mol Sci, 2020, 21(15), 5515	Original Article
25	Akagawa M, Hattori Y, Mizutani Y, et al.	皮膚科	Palisaded Neutrophilic and Granulomatous Dermatitis in a Patient with Granulomatosis with Polyangiitis	Case Rep Dermatol, 2020, 12(1), 52-56	Case report
26	Maekawa YM, Horie K, Iinuma K, et al.	泌尿器科	Effect of Posttransplant Diabetes Mellitus on Graft Loss After Living-Donor Kidney Transplant at a Single Institution	Transplant Proc., 2020, 52(1), 162-168	Original Article
27	Muramatsu-Maekawa Y, Taniguchi T, Ito H, et al.	泌尿器科	Pembrolizumab Treatment and Pathologic Therapeutic Evaluation for Granulocyte Colony-stimulating Factor-producing Bladder Cancer: A Case Report and Literature Review	J Immunother, 2020, 43(4), 134-138	Case report
28	Takai M, Kato D, Iinuma K, et al.	泌尿器科	Simultaneous pembrolizumab-induced myasthenia gravis and myocarditis in a patient with metastatic bladder cancer: A case report	Urol Case Rep., 2020, 31, 101145	Case report
29	Iinuma K, Nakano M, Kato T, et al.	泌尿器科	Assessment of Long-term Changes in Lower Urinary Tract Symptoms in Patients With Prostate Cancer Who Underwent Low-dose-rate Prostate Brachytherapy	Urology, 2020, 142, 213-220	Original Article
30	Koie T, Nakane K, Iinuma K.	泌尿器科	Editorial Comment from Dr Koie et al. to Timing and distribution of early renal cell carcinoma recurrences stratified by pathological nodal status in M0 patients at the time of	Int J Urol, 2020, 27(7), 623	Others
31	Taniguchi T, Iinuma K, Kato D, et al.	泌尿器科	Predictive factors of rectal hemorrhage in patients with localized prostate cancer who underwent low-dose-rate brachytherapy	Int J Clin Oncol, 2020, 25(9), 1711-1717	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
32	Koie T, Hagiwara N, Yamada T, et al.	泌尿器科	Usefulness of robot-assisted radical prostatectomy in a patient with oligometastatic castration-resistant prostate cancer	IJU Case Rep, 2020, 4(1), 26-28	Case report
33	Iinuma K, Yuhara K, Kotaka H, et al.	泌尿器科	Preoperative predictive factors of carcinoma in situ in the normal-appearing mucosa in patients who underwent an initial transurethral resection for non-muscle-invasive bladder cancer under white light	Cancer Rep, 2020, 11, e1321	Original Article
34	Koie T, Hashimoto Y, Suzuki Y, et al.	泌尿器科	Leptomeningeal Metastases in a Patient with Castration-Resistant Prostate Cancer	Case Rep Urol, 2020, 2020, 5627548	Case report
35	Koie T, Hashimoto Y, Imai A, et al.	泌尿器科	Long-term chronological changes in urination status of patients who underwent ileal neobladder reconstruction at a single institution	Int Urol Nephrol, 2020, 53(2), 275-280	Original Article
36	Horie K, Kawakami K, Fujita Y, et al.	泌尿器科	Serum Exosomal Gamma-Glutamyltransferase Activity Increased in Patients with Renal Cell Carcinoma with Advanced Clinicopathological Features	Oncology, 2020, 98(10), 734-742	Original Article
37	Nakane K, Enomoto T, Hishida S, et al.	泌尿器科	The Utility and Efficacy of Laparoscopic Radical Cystectomy in Patients with Muscle-Invasive Bladder Cancer at a Single Institution	Urol Int, 2020, 104(7-8), 573-579	Original Article
38	Nakashima D, Onuma T, Tanabe K, et al.	麻酔科疼痛治療科	Synergistic effect of collagen and CXCL12 in the low doses on human platelet activation	PLoS One, 2020, 15(10), e0241139	Original Article
39	Hatano K, Saigo C, Kito Y, et al.	歯科口腔外科	Overexpression of JAG2 is related to poor outcomes in oral squamous cell carcinoma	Clin Exp Dent Res, 2020, 6(2), 174-180	Original Article
40	Ishida K, Tomita H, Kanayama T, et al.	歯科口腔外科	Specific Deletion of p16 INK4a with Retention of p19 ARF Enhances the Development of Invasive Oral Squamous Cell Carcinoma	Am J Pathol., 2020, 190(6), 1332-1342	Original Article
41	Ishida K, Nakashima T, Shibata T, et al.	歯科口腔外科	Role of the DEK oncogene in the development of squamous cell carcinoma	Int J Clin Oncol., 2020, 25(9), 1563-1569	Original Article
42	Kato S, Hayashi Y, Kimura A, et al.	脳神経内科	Sagging Eye Syndrome: A Differential Diagnosis for Diplopia	Intern Med, 2020, 59(19), 4802-20	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
43	Fuseya K, Kimura A, Yoshikura N, et al.	脳神経内科	Corticobasal Syndrome in a Patient with Anti-IgLON5 Antibodies	Mov Disord Clin Pract, 2020, 7(5), 557-559	Case report
44	Hayashi Y, Iwasaki Y, Waza M, et al.	脳神経内科	Clinicopathological findings of a long-term survivor of V180I genetic Creutzfeldt-Jakob disease	Prion . , 2020, 14(1), 109- 117	Case report
45	Kunieda K, Hayashi Y, Yamada M, et al.	脳神経内科	Serial evaluation of swallowing function in a long-term survivor of V180I genetic Creutzfeldt- Jakob disease	Prion., 2020, 14(1), 180-184	Case report
46	Ono Y, Yoshikura N, Takekoshi A, et al.	脳神経内科	Brain Abscess Presenting as Prolonged Headache in a Patient with Amyotrophic Lateral Sclerosis under Mechanical Ventilation	Intern Med . , 2020, 59(4), 581- 583	Case report
47	Kudo T, Kimura A, Higashida K, et al.	脳神経内科	Autoimmune Glial Fibrillary Acidic Protein Astrocytopathy Presenting with Slowly Progressive Myelitis and Longitudinally Extensive Spinal Cord Lesions	Internal Med., 2020, 59(21), 2777-2781	Case report
48	Ohi K, Otowa T, Shimada M, et al.	精神科	Shared genetic etiology between anxiety disorders and psychiatric and related intermediate phenotypes	Psychol Med, 2020, 50(4), 692-704	Original Article
49	Ohi K, Nishizawa D, Shimada T, et al.	精神科	Polygenetic Risk Scores for Major Psychiatric Disorders Among Schizophrenia Patients, Their First-Degree Relatives, and Healthy Participants	Int J Neuropsychopharmacol, 2020, 23(3), 157- 164	Original Article
50	Ohi K, Shimada T, Kataoka Y, et al.	精神科	Genetic correlations between subcortical brain volumes and psychiatric disorders	Br J Psychiatry, 2020, 216(5), 280- 283	Original Article
51	Ohi K, Nishizawa D, Muto Y, et al.	精神科	Polygenic risk scores for late smoking initiation associated with the risk of schizophrenia	NPJ Schizophr, 2020, 6(1), 36	Original Article
52	Sugiyama S, Kinukawa T, Takeuchi N, et al.	精神科	Assessment of haptic memory using somatosensory change- related cortical responses	Hum Brain Mapp, 2020, 41(17), 4892- 4900	Original Article
53	Enomoto Y, Egashira Y, Matsubara H, et al.	脳神経外科	Long-term outcome of endovascular therapy for large or giant thrombosed intracranial aneurysms.	World Neurosurg, 2020, 144, e507- e512	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
54	Funatsu N, Enomoto Y, Egashira Y, et al.	脳神経外科	Tissue protrusion with attenuation is associated with ischemic brain lesions after carotid artery stenting	Stroke, 2020, 51(1), 327-330	Original Article
55	Matsubara H, Imai T, Yamada T, et al.	脳神経外科	Importance of CBF measurement to exclude concomitant cerebral infarction in the murine endovascular perforation SAH model	J Stroke Cerebrovasc Dis, 2020, 29(11), 105243	Original Article
56	Takei H, Shinoda J, Ikuta S, et al.	脳神経外科	Usefulness of positron emission tomography for differentiating gliomas according to the 2016 World Health Organization classification of tumors of the central nervous system	J Neurosurg, 2020, 133(4), 1010-1019	Original Article
57	Mizutani D, Onuma T, Tanabe K, et al.	脳神経外科	Olive polyphenol reduces the collagen-elicited release of phosphorylated HSP27 from human platelets	Biosci Biotechnol Biochem, 2020, 84(3), 536-543	Original Article
58	Toshimitsu Ohashi, Kousuke Terasawa, Mitsuhiro Aoki, et al.	耳鼻咽喉科	The importance of FDG-PET/CT parameters for the assessment of the immune status in advanced HNSCC	Auris Nasus Larynx, 2020, 47(4), 658-667	Original Article
59	HiroshiOkuda,B unyaKuze,Hirof umiShibata,et al.	耳鼻咽喉科	Biphenotypic sinonasal sarcoma with acute exacerbation: A case report	Otolaryngology Case Reports., 2020, 16, 100190	Case report
60	Murata K, Ozawa K, Kawakami H, et al.	眼科	Brachybacterium paraconglomeratum Endophthalmitis Postcataract Operation	Case Rep Ophthalmol Med, 2020, 12, 1513069	Original Article
61	Manabe Y, Sawada A, Mochizuki K	眼科	Corneal sterile infiltration induced by topical use of ocular hypotensive agent	Eur J Ophthalmol, 2020, 30(5), 23-25	Original Article
62	Manabe Y, Sawada A, Yamamoto T.	眼科	Localization in glaucomatous visual field loss vulnerable to posture-induced intraocular pressure changes in open angle glaucoma	Am J Ophthalmol, 2020, 213(5), 9-16	Original Article
63	Hiroyuki Tomita, Akira Hara	病理部	Academic Press; Chapter 4 – Serrated lesions and stem cells on drug resistance and colon cancer	Drug Resistance In Colorectal Cancer: Molecular Mechanisms and Therapeutic Strategies. 2020. 8	Review
64	Hara A, Niwa M, Noguchi K, et al.	病理部	Galectin-3 as a Next-Generation Biomarker for Detecting Early Stage of Various Diseases	Biomolecules, 2020, 10(3), E389	Review

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
65	Hatano Y, Tamada M, Matsuo M, et al.	病理部	Molecular Trajectory of BRCA1 and BRCA2 Mutations	Front Oncol, 2020, 10, 361	Review
66	Hara A, Niwa M, Kanayama T, et al.	病理部	Galectin-3: A Potential Prognostic and Diagnostic Marker for Heart Disease and Detection of Early Stage Pathology	Biomolecules, 2020, 10(9), E1277	Review
67	Matsuo M, Hatano Y, Imaizumi Y, et al.	病理部	Metastatic colon cancer of the small intestine diagnosed using genetic analysis: a case report	Diagn Pathol, 2020, 15(1), 106	Case report
68	Yoshida K, Tanaka Y, Imai T, et al.	消化器外科	Subtotal stomach in esophageal reconstruction surgery achieves an anastomotic leakage rate of less than 1%	Ann Gastroenterol Surg, 2020, 4(4), 422-432	Original Article
69	Tokumaru Y, Oshi M, Katsuta E, et al.	乳腺外科	KRAS signaling enriched triple negative breast cancer is associated with favorable tumor immune microenvironment and better survival	Am J Cancer Res, 2020, 10(3), 897-907	Original Article
70	Sato Y, Sugimoto M, Tanaka Y, et al.	消化器外科	Holographic image guided thoracoscopic surgery: possibility of usefulness for esophageal cancer patients with abnormal artery	Esophagus, 2020, 17(4), 508-511	Original Article
71	Suetsugu T, Tanaka Y, Banno S, et al.	消化器外科	Intranodal lymphangiography for chyle leakage after esophagectomy: A case report	Mol Clin Oncol, 2020, 12(4), 343-349	Case report
72	Tokumaru Y, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	乳腺外科	Rectal neuroendocrine tumor developing lateral lymph node metastasis after curative resection: a case report	World J Surg Oncol, 2020, 18(1), 74	Original Article
73	Tokumaru Y, Takabe K, Yoshida K, et al.	乳腺外科	Effects of MIR143 on rat sarcoma signaling networks in solid tumors: A brief overview	Cancer Sci, 2020, 111(4), 1076-1083	Review
74	Tokumaru Y, Katsuta E, Oshi M, et al.	乳腺外科	High Expression of miR-34a Associated with Less Aggressive Cancer Biology but Not with Survival in Breast Cancer	Int J Mol Sci, 2020, 21(9), 3045	Original Article
75	Tokumaru Y, Asaoka M, Oshi M, et al.	乳腺外科	High Expression of microRNA- 143 is Associated with Favorable Tumor Immune Microenvironment and Better Survival in Estrogen Receptor Positive Breast Cancer	Int J Mol Sci, 2020, 21(9), 3213	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
76	Iwata Y, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Ascending colon cancer with synchronous right external iliac lymph node metastasis	Int Cancer Conf J, 2020, 9(3), 162-167	Case report
77	Matsuhashi N, Iwata Y, Kawajiri M, et al.	消化器外科	GePOINT single-port laparoscopy-assisted transanal minimum invasive surgery for low rectal cancer: a preliminary report on the use of the GOD VISION wireless smart glass-shaped	World J Surg Oncol, 2020, 18(1), 141	Case report
78	Goto A, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Feasibility of the Reconstruction with Fascia Lata Patch on the Abdominal Wall Defect After Resection of the Abdominal Desmoid Tumor	Clin Exp Gastroenterol, 2020, 13, 249-254	Case report
79	Imai T, Tanaka Y, Adachi T, et al.	消化器外科	Therascopic subtotal esophagectomy via a right thoracic cavity approach to treat an intractable fistula after 20 months from onset of an idiopathic esophageal rupture: A	Asian J Endosc Surg, 2020, 13(3), 402-405	Case report
80	Tokumar Y, Le L, Asaoka M, et al.	乳腺外科	Should we target "intermediate expression" of HER2 in older estrogen receptor positive patients?	Transl Cancer Res, 2020, 9(7), 4056- 4059	Letter
81	Tokumar Y, Oshi M, Katsuta E, et al.	乳腺外科	Intratumoral Adipocyte-High Breast Cancer Enrich for Metastatic and Inflammation- Related Pathways but Associated with Less Cancer Cell Proliferation	Int J Mol Sci, 2020, 21(16), 5744	Original Article
82	Sano H, Futamura M, Gaowa S, et al.	消化器外科	p53/Mieap-regulated mitochondrial quality control plays an important role as a tumor suppressor in gastric and esophageal cancers	Biochem Biophys Res Commun, 2020, 529(3), 582-589	Original Article
83	Fukada M, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Tumor Tissue MIR92a and Plasma MIRs21 and 29a as Predictive Biomarkers Associated with Clinicopathological Features and Surgical Resection in a Prospective Study on Colorectal	J Clin Med, 2020, 9(8), 2509	Original Article
84	Tajima JY, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Short- and long-term outcomes after colonic self-expandable metal stent placement for malignant large-bowel obstruction as a bridge to surgery focus on the feasibility of the laparoscopic	World J Surg Oncol, 2020, 18(1), 265	Original Article
85	Fukada M, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Prognostic factors in pulmonary metastasectomy and efficacy of repeat pulmonary metastasectomy from colorectal cancer	World J Surg Oncol, 2020, 18(1), 314	Original Article
86	Nakashima T, Matsuhashi N, Suetsugu T, et al.	消化器外科	An endoscopic dilation method using the rendezvous approach for the treatment of severe anastomotic stenosis after rectal cancer surgery: a case report	World J Surg Oncol, 2020, 18(1), 291	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
87	Iwashita T, Uemura S, Mita N, et al.	第1内科	Endoscopic ultrasound guided- antegrade biliary stenting vs percutaneous transhepatic biliary stenting for unresectable distal malignant biliary obstruction in patients with surgically altered, Sustained virological response by direct-acting antivirals reduces the recurrence risk of hepatitis C-related hepatocellular carcinoma after curative treatment	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2020, 27, 968-976	Original Article
88	Imai K, Takai K, Hanai T, et al.	第1内科	Rapid depletion of subcutaneous adipose tissue during sorafenib treatment predicts poor survival in patients with hepatocellular carcinoma	Mol Clin Oncol, 2020, 12, 111-116	Original Article
89	Imai K, Takai K, Miwa T, et al.	第1内科	Low levels of serum tryptophan underlie skeletal muscle atrophy	Cancers (Basel), 2020, 12, 1795	Original Article
90	Ninomiya S, Nakamura N, Nakamura H, et al.	第1内科	The impact of sarcopenia and decrease in skeletal muscle mass in patients with advanced pancreatic cancer during FOLFIRINOX therapy	Nutrients, 2020, 12, 978	Original Article
91	Uemura S, Iwashita T, Ichikawa H, et al.	第1内科	Late Evening Snack with Branched-Chain Amino Acids Supplementation Improves Survival in Patients with Cirrhosis	Br J Nutr, 2020, 4, 001-29	Original Article
92	Hanai T, Shiraki M, Imai K, et al.	第1内科	Allopurinol suppresses azoxymethane-induced colorectal tumorigenesis in C57BL/KsJ- db/db Mice	J Clin Med, 2020, 9, 1013	Original Article
93	Kato J, Shirakami Y, Yamaguchi K, et al.	第1内科	Alpha-glucosidase inhibitor voglibose suppresses azoxymethane-induced colonic preneoplastic lesions in diabetic and obese mice	Gastrointest Disord, 2020, 2, 385-396	Original Article
94	Kato J, Shirakami Y, Mizutani T, et al.	第1内科	Endoscopic and pathological characteristics of Helicobacter pylori infection-negative early gastric cancer	Int J Mol Sci, 2020, 21, 2226	Original Article
95	Mizutani T, Araki H, Saigo C, et al.	第1内科	The efficacy of over-the-scope clip closure for gastrointestinal iatrogenic perforation during endoscopic ultrasound and endoscopic retrograde cholangiopancreatography for	Dig Dis, 2020, 38, 474-483	Original Article
96	Iwasa Y, Iwashita T, Uemura S, et al.	第1内科	Development of diffuse large B- cell lymphoma after sofosbuvir- ledipasvir treatment for chronic hepatitis C: A case report and literature review	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech, 2020, 30, 257- 262	Original Article
97	Sakai H, Miwa T, Ikoma Y, et al.	第1内科		Mol Clin Oncol, 2020, 13(3), 1	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
98	Iwashita T, Uemura S, Mita N, et al.	第1内科	Utility of endoscopic ultrasound and endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for the diagnosis and management of pancreatic cystic lesions: Differences between the	Dig Endosc, 2020, 32, 251-262	Review
99	Ando T, Kato H, Kawaguchi M, et al.	放射線科	Diagnostic ability of contrast- enhanced computed tomography for metastatic cervical nodes in head and neck squamous cell carcinomas: significance of additional coronal reconstruction	Pol J Radiol, 2020, 85, e1-e7	Original Article
100	Ando T, Kato H, Kawaguchi M, et al.	放射線科	MR findings for differentiating decidualized endometriomas from seromucinous borderline tumors of the ovary	Abdom Radiol (NY), 2020, 45(6), 1783- 1789	Original Article
101	Kaga T, Kato H, Hatano Y, et al.	放射線科	Can MRI features differentiate ovarian mucinous carcinoma from mucinous borderline tumor?	Eur J Radiol, 2020, 132, 109281	Original Article
102	Kato H, Kawaguchi M, Ando T, et al.	放射線科	Hypointense head and neck lesions on T2-weighted images: correlation with histopathologic findings	Neuroradiology, 2020, 62(10), 1207- 1217	Review
103	Kawaguchi M, Kato H, Tomita H, et al.	放射線科	CT and MR imaging findings of solitary nevus lipomatosis cutaneous superficialis: radiological-pathological correlation	Skeletal Radiol, 2020, 49(1), 129-135	Original Article
104	Kawaguchi M, Kato H, Tomita H, et al.	放射線科	Magnetic Resonance Imaging Findings Differentiating Cutaneous Basal Cell Carcinoma from Squamous Cell Carcinoma in the Head and Neck Region	Korean J Radiol, 2020, 21(3), 325-331	Original Article
105	Kawaguchi M, Kato H, Hatano Y, et al.	放射線科	MR imaging findings of low-grade serous carcinoma of the ovary: comparison with serous borderline tumor	Jpn J Radiol, 2020, 38(8), 782-789	Original Article
106	Kawaguchi M, Kato H, Tomita H, et al.	放射線科	Comparison of Imaging Findings between Human Papillomavirus- positive and -Negative Squamous Cell Carcinomas of the Maxillary Sinus	J Clin Imaging Sci, 2020, 10, 59	Original Article
107	Kawaguchi M, Kato H, Kaneko Y, et al.	放射線科	Hyperdense Thymic Atrophy After Chemotherapy in Pediatric Patients With Extrathoracic Malignancies	J Comput Assist Tomogr, 2020, 44(6), 865-869	Original Article
108	Kawaguchi M, Kato H, Tomita H, et al.	放射線科	MR imaging findings for differentiating cutaneous malignant melanoma from squamous cell carcinoma	Eur J Radiol, 2020, 132, 109212	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
109	Makita C, Okada S, Kajiura Y, et al.	放射線科	Vascular events from carotid artery atherosclerosis after radiation therapy for laryngeal and hypopharyngeal cancer: the incidence and risk factors	Nagoya J Med Sci, 2020, 82(4), 747-761	Original Article
110	Kawada H,Sato Y, Inaba Y, et al.	放射線科	Stenting Using the Rendezvous Technique for Postoperative Ureteral Complications in Cancer Patients	Cardiovasc Intervent Radiol, 2020, 43(10), 1486-1491	Original Article
111	Tanaka H, Makita C, Manabe Y, et al.	放射線科	Radiation therapy combined with bone-modifying agents ameliorates local control of osteolytic bone metastases in breast cancer	J Radiat Res, 2020, 61(3), 494-498	Original Article
112	Tanaka O, Sugiyama A, Omatsu T, et al.	放射線科	Hemostatic radiotherapy for inoperable gastric cancer: a pilot study	Br J Radiol, 2020, 93(1111), 20190958	Original Article
113	Noda Y, Goshima S, Takai Y, et al.	放射線科	Detection of pancreatic ductal adenocarcinoma and liver metastases: comparison of Gd-EOB-DTPA-enhanced MR imaging vs. extracellular contrast materials	Abdom Radiol (NY), 2020, 45(8), 2459-2468	Original Article
114	Noda Y, Goshima S, Nagata S, et al.	放射線科	Utility of microcatheter in adrenal venous sampling for primary aldosteronism	Br J Radiol, 2020, 93(1109), 20190636	Original Article
115	Noda Y, Goshima S, Tsuji Y, et al.	放射線科	Pancreatic extracellular volume fraction using T1 mapping in patients with impaired glucose intolerance	Abdom Radiol (NY), 2020, 45(2), 449-456	Original Article
116	Noda Y, Goshima S, Nakashima Y, et al.	放射線科	Iodine dose optimization in portal venous phase virtual monochromatic images of the abdomen: Prospective study on rapid kVp switching dual energy CT	Eur J Radiol, 2020, 122, 108746	Original Article
117	Noda Y, Goshima S, Okuaki T, et al.	放射線科	Hepatocyte fraction: correlation with noninvasive liver functional biomarkers	Abdom Radiol (NY), 2020, 45(1), 83-89	Original Article
118	Noda Y, Goshima S, Kaga T, et al.	放射線科	Virtual monochromatic image at lower energy level for assessing pancreatic ductal adenocarcinoma in fast kV-switching dual-energy CT	Clin Radiol, 2020, 75(4), 320.e17-320.e23	Original Article
119	Tanahashi Y, Kawada H, Goshima S, et al.	放射線科	Intranodal Popliteal Lymphangiography for Postoperative Lymphorrhea after Inguinal Node Dissection	J Vasc Interv Radiol, 2020, 31(11), 1926-1929	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
120	Shoda S, Hyodo F, Tachibana Y, et al.	放射線科	Imaging of Hydroxyl-Radical Generation Using Dynamic Nuclear Polarization-Magnetic Resonance Imaging and a Spin-Trapping Agent	Anal Chem, 2020, 92(21), 14408-14414	Original Article
121	Tanahashi Y, Ozeki M, Kawada H, et al.	放射線科	Direct-Puncture Lymphatic Embolization in the Prone Position for Chylothorax Caused by Lymphatic Anomaly	J Vasc Interv Radiol, 2020, 31(5), 849-852	Case report
122	Tanahashi Y, Iwasaki R, Shoda S, et al.	放射線科	Dynamic contrast-enhanced computed tomography lymphangiography with intranodal injection of water-soluble iodine contrast media in microminipig: imaging protocol and feasibility	Eur Radiol, 2020, 30(11), 5913-5922	Original Article
123	Ikeda T, Asano M, Kitada Y, et al.	総合内科	Relapsing Polychondritis with a Cobble-stone Appearance of the Tracheal Mucosa, Preceded by Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome	intern Med, 2020, 59(8), 1093-1097	Original Article
124	Koichiro Taguchi, Kazuo Kajita, Yoshihiro Kitada, et al.	総合内科	Role of small proliferative adipocytes: possible beige cell progenitors	J Endocrinol, 2020, 245(1), 65-78	Case report
125	Watanabe D, Fujii H, Matsuhashi N, et al.	薬剤部	Dose Adjustment of Oxaliplatin Based on Renal Function in Patients With Metastatic Colorectal Cancer	Anticancer Res, 2020, 40(4), 2379-2386	Original Article
126	Watanabe D, Fujii H, Yamada Y, et al.	薬剤部	Relationship Between Renal Function and the Incidence of Adverse Events in Patients With Colorectal Cancer Receiving Oxaliplatin	Anticancer Res, 2020, 40(1), 299-304	Original Article
127	Iihara H, Shimokawa M, Hayasaki Y, et al.	薬剤部	Efficacy and safety of 5 mg olanzapine combined with aprepitant, granisetron and dexamethasone to prevent carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with	Gynecol Oncol, 2020, 156(3), 629-635	Original Article
128	Yamada H, Kobayashi R, Shimizu S, et al.	薬剤部	Implementation of a standardized pharmacist check of medical orders prior to preparation of anticancer drugs to reduce drug wastage	Int J Clin Pract, 2020, 74(4), e13464	Original Article
129	Fujii H, Matsuhashi N, Kitahora M, et al.	薬剤部	Bevacizumab in Combination with TAS-102 Improves Clinical Outcomes in Patients with Refractory Metastatic Colorectal Cancer: A Retrospective Study	Oncologist, 2020, 25(3), e469-e476	Original Article
130	Nishida S, Hayashi Y, Hirai K, et al.	薬剤部	Effect of therapeutic plasma exchange on phenytoin plasma concentration in patients receiving intravenous fosphenytoin therapy	Pharmazie, 2020, 75(10), 488-490	Original Article

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
131	Hirose C, Fujii H, Iihara H, et al.	薬剤部	Real-world data of the association between quality of life using the EuroQol 5 Dimension 5 Level utility value and adverse events for outpatient cancer chemotherapy	Support Care Cancer, 2020, 28(12), 5943-5952	Original Article
132	Fujii H, Makiyama A, Iihara H, et al.	薬剤部	Cancer Cachexia Reduces the Efficacy of Nivolumab Treatment in Patients With Advanced Gastric Cancer	Anticancer Res, 2020, 40(12), 7067-7075	Original Article
133	Ohata K, Kitagawa J, Niwa T, et al.	薬剤部	Comparison of breakthrough Gram-positive cocci infection during vancomycin vs teicoplanin therapy in patients receiving haematopoietic stem cell transplantation	J Clin Pharm Ther, 2020, 45(6), 1342-1348	Original Article
134	Fukuta T, Okada H, Takemura G, et al.	高次救命治療センター	Neutrophil Elastase Inhibition Ameliorates Endotoxin-Induced Myocardial Injury Accompanying Degradation of Cardiac Capillary Glycocalyx	Shock, 2020, 54(3), 386-393	Original Article
135	Miyake T, Okada H, Kanda N, et al.	高次救命治療センター	Multiple trauma including pelvic fracture with multiple arterial embolization: an autopsy case report	Thrombosis journal, 2020, 18(1), 3	Case report
136	Kamidani R, Okada H, Yasuda R, et al.	高次救命治療センター	Diffuse midline glioma in the spinal cord with rapid respiratory deterioration	Acute Medicine & Surgery, 2020, 7(1), e500	Case report
137	Matsumaru N, Okada H, Suzuki K, et al.	高次救命治療センター	Weather Fluctuations May Have an Impact on Stroke Occurrence in a Society: A Population-Based Cohort Study	Cerebrovascular Diseases Extra, 2020, 10(1), 1-10	Original Article
138	Onuma T, Iida M, Kito Y, et al.	高次救命治療センター	Cigarette Smoking Cessation Temporarily Enhances the Release of Phosphorylated-HSP27 From Human Platelets	Intern Med, 2020, 59(15), 1841-1847	Original Article
139	Suzuki K, Okada H, Takemura G, et al.	高次救命治療センター	Recombinant thrombomodulin protects against LPS-induced acute respiratory distress syndrome via preservation of pulmonary endothelial glycocalyx	Br J Pharmacol, 2020, (17):, 4021-4033.	Original Article
140	Yoshiyama N, Okada H, Ushikoshi H, et al.	高次救命治療センター	Man with chest pain	J Am Coll Emerg Physicians Open, 2020, 1(6), 1761-1768	Original Article
141	Yoshiyama N, Okada H, Miyake T, et al.	高次救命治療センター	Emphysematous cholecystitis during the treatment of heat stroke	Acute Medicine & Surgery, 2020, 2020;7, e613	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
142	Yano H, Kuroda A, Okada H, et al.	高次救命治療センター	Ultrastructural alteration of pulmonary tissue under conditions of high oxygen concentration	Int J Clin Exp Pathol, 2020, 13(12), 3004-3012	Original Article
143	Iizuka K, Takao K, Yabe D.	生体支援センター	ChREBP-Mediated Regulation of Lipid Metabolism: Involvement of the Gut Microbiota, Liver, and Adipose Tissue	Front Endocrinol (Lausanne), 2020, 11, 587189	Review
144	Hanai T, Shiraki M, Imai K, et al.	生体支援センター	Usefulness of Carnitine Supplementation for the Complications of Liver Cirrhosis	Nutrients, 2020, 12(7), 1915	Original Article
145	Horikawa Y, Suzuki A, Enya M, et al.	第3内科	Periodontal disease may be associated with the occurrence of diabetic retinopathy: A subgroup analysis of the survey of the Diabetes Coordination Notebook in Gifu	Exp Clin Endocrinol Diabetes, 2020, 128, 231-238	Original Article
146	Yabe D, Higashiyama H, Kadowaki T, et al.	第3内科	Real-world Observational Study on Patient Outcomes in Diabetes (RESPOND): Study Design and Baseline Characteristics of Patients with Type 2 Diabetes Newly Initiating Oral Antidiabetic	BMJ Open Diabetes Research & Care, 2020, 8(2), e001361	Original Article
147	Nonomura K, Iizuka K, Kuwabara-Ohmura Y, et al.	第3内科	SGLT2 Inhibitor and GLP-1 Receptor Agonist Combination Therapy Substantially Improved the Renal Function in a Patient with Type 2 Diabetes: Implications for Additive	Internal Medicine, 2020, 59(12), 1535-1539	Case report
148	Iizuka K, Takao K, Yabe D.	第3内科	Recent progress in ChREBP-mediated regulation of lipid metabolism - gut microbiota, liver and adipose tissue	Frontiers in Endocrinology, 2020, 11, 587189	Review
149	Sodai K, Liu Y, Iizuka K, et al.	第3内科	A review of recent findings on meal sequence: an attractive dietary approach to prevention and management of type 2 diabetes	Nutrients, 2020, 12(9), 2502	Review
150	Iizuka K, Yabe D.	第3内科	The role of Metagenomics in Precision Nutrition	Nutrients, 2020, 12(6), 1668	Review
151	Kawamoto N., Kaneko H., Kawamoto M., et al.	小児科	Oral immunotherapy with antigenicity-modified casein induces desensitization in cow's milk allergy	Allergy, 2020, 75, 197-200	Letter
152	Yokoyama M., Ozeki M., Nozawa A., et al.	小児科	Low-dose sirolimus for a patient with blue rubber bleb nevus syndrome	Pediatr Int, 2020, 62, 112-113	Case report

小計11件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
153	Kubota K., Yamamoto T., Miyatake S., et al.	小児科	Novel variants of ABCC9 in Japanese children with Cantu syndrome	Pediatr Int, 2020, 62, 410-412	Case report
154	Ozeki M., Fukao T.	小児科	Reply to: Comment on: Potential biomarkers of kaposiform lymphangiomatosis	Pediatr Blood Cancer, 2020, 67, e28156	Letter
155	Nozawa A., Ozeki M., Yasue S., et al.	小児科	Proinflammatory Cytokine Secretion in a Patient With Recurrent Neuroblastoma Related to the Onset of Malignancy- associated Hemophagocytic Lymphohistiocytosis	J Pediatr Hematol Oncol, 2020, 42(4), e199-e201	Case report
156	Kadowaki T., Ohnishi H., Kawamoto N., et al.	小児科	Immunophenotyping of A20 haploinsufficiency by multicolor flow cytometry	Clin Immunol, 2020, 216, 108441	Original Article
157	Nozawa A., Ozeki M., Yasue S., et al.	小児科	Immunologic Effects of Sirolimus in Patients With Vascular Anomalies	J Pediatr Hematol Oncol, 2020, 42, e355-e360	Original Article
158	Otsuka H., Kimura T., Ago Y., et al.	小児科	Deficiency of 3-hydroxybutyrate dehydrogenase (BDH1) in mice causes low ketone body levels and fatty liver during fasting	J Inherit Metab Dis, 2020, 43(5), 960-968	Original Article
159	Ago Y., Otsuka H., Sasai H., et al.	小児科	Japanese patients with mitochondrial 3-hydroxy-3- methylglutaryl-CoA synthase deficiency: In vitro functional analysis of five novel HMGCS2 mutations	Exp Ther Med, 2020, 20, 39	Original Article
160	Ninomiya H., Ozeki M., Matsuzawa Y., et al.	小児科	A pediatric case of anaplastic astrocytoma with a gliomatosis cerebri; the growth pattern and changes in serum VEGF-121 levels after bevacizumab treatment	J Clin Neurosci, 2020, 81, 431-433	Case report
161	Nozawa A., Ozeki M., Yasue S., et al.	小児科	Myelodysplastic syndromes in a pediatric patient with Cri du Chat syndrome with a ring chromosome 5	Int J Hematol, 2020, 112, 728-733	Case report
162	Kubota K., Shikano H., Fujii H., et al.	小児科	Alice in Wonderland syndrome associated with influenza virus infection	Pediatr Int, 2020, 62, 1391-1393	Case report

小計10件
計162件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
----	-------	---------------------------	----	---------------	------

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 委員会提出書類、予備審査、研究計画の判定、重篤な有害事象への対応等	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 委員組織、所掌業務、会議、報告等	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年26回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針について、臨床研究法について、倫理審査委員会申請書類について等	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

岐阜大学医学部附属病院は、先進医療を提供し、地域医療の中核を担う能力を備えた医師を育成するため、2年間の初期研修を修了した医師を対象に、その分野での卓越した専門医の育成を行っている。

優れた指導医によるきめ細かい指導体制

優れた知識と経験をもつ多数の指導医の下で質の高い研修を実施。

メジャーな診療科だけでなく大学病院ならではのマイナー科と呼ばれる診療科にも多数の指導医を配置。

豊富な知識・経験を持つ専門医を育成

大学病院や関連病院で豊富な臨床経験を積む中で、基礎的な力を養いながら専門医を取得できる。また、大学院へ進むことも可能で、希望者は基礎研究、臨床研究を行い、医学博士の取得を目指すことができる。

豊富な機材を利用したシミュレーション教育

岐阜大学医学部附属病院が所有している内視鏡外科手術トレーニングセンターのシミュレーターを利用したトレーニングを実施。

研修例

- 1年目 岐阜大学病院
- 2～3年目 連携施設
- 4年目以降 専門医取得 各種領域専門医申請

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	91人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
末次 淳	内科・消化器内科	副科長	23年	
兼村 信宏	内科・血液内科	副科長	22年	
金森 寛充	内科・循環器内科	准教授	23年	
大野 康	内科・呼吸器内科	副科長	31年	
吉田 学郎	内科・腎臓内科	臨床講師	17年	
矢部 大介	内科・糖尿病代謝内科	科長	14年	
諏訪 哲也	内科・免疫・内分泌内科	副科長	26年	
下畑 享良	内科・脳神経内科	科長	30年	
森 一郎	内科	医局長	18年	
土井 潔	外科・心臓血管外科	科長	31年	
岩田 尚	外科・呼吸器外科	科長	31年	
奥村 直樹	外科・消化器外科	医局長	21年	
二村 学	外科・乳腺外科	科長	34年	
早崎 容	産婦人科	医局長	25年	
野澤 聡	整形外科	医局長	23年	
岩間 亨	脳神経外科	科長	37年	
坂口 裕和	眼科	科長	26年	
小川 武則	耳鼻咽喉科	科長	23年	

周 円	皮膚科	副科長	22年
飯沼 光司	泌尿器科	医局長	10年
深尾 琢	精神科	医局長	29年
大西 秀典	小児科	科長	23年
川田 紘資	放射線科	医局長	13年
福岡 尚和	麻酔科	医局長	21年
吉田 隆浩	救急科	医局長	27年
加藤 恵三	歯科	副科長	29年
青木 隆明	リハビリテーション部	副部長	30年
加藤 久和	形成外科	科長	33年
渡邊 崇量	検査部	副部長	17年
宮崎 龍彦	病理部	副部長	30年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

検査部セミナー（症例検討、学会発表予演会、業務に関する研修会など）

心エコーカンファレンス（webセミナー）

診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等）、診療用放射線照射装置に係る定期研修会

感染管理フォローアップ研修：看護部認定感染管理コース修了者対象フォローアップ研修

褥瘡ケアフォローアップ研修：看護部認定褥瘡ケアコース修了者対象フォローアップ研修

がん看護ELNEC - J研修：所属部署でがん看護に関する役割モデルとなる看護師の育成

フィジカルイグザミネーション研修：フィジカルイグザミネーションの知識と技術を習得する

フィジカルアセスメント研修：患者から得られた情報の解釈

・研修の期間・実施回数

検査部セミナー 1～2回/月

心エコーカンファレンス 1回/月

診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等）、診療用放射線照射装置に係る定期研修会 2回/年

感染管理フォローアップ研修：令和2年3月開催、1時間

褥瘡ケアフォローアップ研修：令和2年3月開催、1時間

がん看護ELNEC - J研修：令和2年9月開催、全2回×8時間

フィジカルイグザミネーション研修：令和2年8月開催、全4回×1.5時間

フィジカルアセスメント研修：令和2年8月～令和3年1月開催、全10回×3時間

・研修の参加人数

検査部セミナー 20～35名

心エコーカンファレンス（webセミナー） 約20名

診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等）、診療用放射線照射装置に係る定期研修会

第1回（令和2年8月27, 28日）17名

第2回（令和3年2月25, 26日）17名

感染管理フォローアップ研修：1名

褥瘡ケアフォローアップ研修：3名

がん看護ELNEC - J研修：14名+院外9名

フィジカルイグザミネーション研修：77名

フィジカルアセスメント研修：161名

業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容：

リーダーのあり方と問題解決：リーダーシップ、問題解決技法、自部署の業務改善と実践報告

リーダーナースとしての業務管理：組織における自身の位置づけと役割を理解し業務を遂行する上でリーダーナースとしての物品管理について必要な知識を習得する

災害看護：大規模災害における大学病院や看護師の役割を学び、患者の安全、指示命令系統、情報伝達、治療について理解できる。シミュレーション研修

2020年度放射線治療品質管理士講習会（e-learning）

・研修の期間・実施回数：

リーダーのあり方と問題解決：令和2年5月～令和3年1月開催、15.25時間

リーダーナースとしての業務管理：令和2年7月開催、講義1.5時間

災害看護：令和2年7月開催～12月、講義・演習24時間

2020年度放射線治療品質管理士講習会：令和3年1月20日～2月9日

・研修の参加人数：

リーダーのあり方と問題解決：9名

リーダーナースとしての業務管理：14名

災害看護：151名

2020年度放射線治療品質管理士講習会：2名

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 吉田 和弘	
管理担当者氏名	事務部長	早野 美里
	総務課長	畠山 哲大
	経営企画課長	坪井 豊
	医事課長	岡田 章宏
	医療支援課長	齋藤 敦
	看護部長	廣瀬 泰子
	生体支援センター長	馬場 尚志
	放射線部長	松尾 政之
	高次救命治療センター長	小倉 真治
	薬剤部長	鈴木 昭夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 一 項 に 掲 げ る 事 項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	看護部
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 二 項 に 掲 げ る 事 項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部事務部臨床研究係
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課・医療支援課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 に 掲 げ る 事 項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室
			<p>2004年6月より電子カルテで運用していることから、診療情報は医療情報部のサーバー室に保管されています。電子カルテ稼働以前の紙媒体については、診療録は患者の最終受診日から起算して10年と定め、フィルム等諸記録については3年、医事課カルテ庫にて施錠保管しています。</p> <p>・法律の規定に定められた保存年数を「東海国立大学機構法人文書管理規程」に基づき保管している。</p> <p>・指針は、医療安全マニュアルに入れている、また病院ホームページにも公表している。</p> <p>・法律の規定に定められた保存年数を「東海国立大学機構法人文書管理規程」に基づき保管している。</p>

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	生体支援センター	法律の規定に定められた保存年数を「東海国立大学機構法人文書管理規程」に基づき保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	生体支援センター	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	生体支援センター	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室 医療支援課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室 医療支援課			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室 医療支援課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	生体支援センター
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	臨床倫理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療録管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理室
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総合企画部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 早野 美里	
閲覧担当者氏名	医事課長 岡田 章宏	
閲覧の求めに応じる場所	医事課・医療支援課事務室内 カルテ閲覧室	
閲覧の手続の概要 閲覧しようとする者は、閲覧申込書を原則として、閲覧を希望する 2 週間前までに提出し、病院長の承認を得る。 病院長は、前項の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付。 閲覧に関しては、閲覧担当者が立ち会う。ただし、閲覧担当者に事故があるとき又は閲覧する諸記録によっては、あらかじめ閲覧責任者が指名する者が立ち会う。 閲覧を承諾された者は、閲覧に立ち会う本学職員の指示に従い、万一従わない場合は、閲覧を中止する。 諸記録の貸出し、複写及び撮影は行わない。		

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 医療安全のための組織 3. 医療安全管理のための職員研修・教育 4. インシデント報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 5. 医療事故等の発生時の対応 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. 医療安全管理の推進 9. 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供 	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>次の各号に掲げる事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 2. 医療安全管理のための職員研修に関すること。 3. 医療事故及びインシデントに関する情報の収集並びに原因の究明のための調査及び分析に関すること。 4. 前号の分析の結果を活用した改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。 5. 前号の改善のための方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 6. 入院患者の死亡報告及び 3 b 以上のインシデント報告の実施状況の確認に関すること。 7. 前号の実施状況が不十分な場合における職員への研修及び指導に関すること。 8. 医療安全マニュアルの作成に関すること。 9. その他医療事故防止に関すること。 	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全職員対象研修会 <ol style="list-style-type: none"> 第 1 回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理 「当院の患者誤認インシデントの現状と課題」 ・ 医療ガス安全管理 「医療ガスの取り扱いについて」 ・ 放射線の安全管理 「診療用放射線の安全管理」 第 2 回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理 「電波（電磁波）の医療機器への影響」 ・ 医薬品の医療安全 「医療従事者が知っておくべき B 型肝炎対策」 「入院時における薬剤確認の重要性について」 	

<p>2) 新採用・中途採用職員研修(全職種)(1回) ○病院の医療安全管理について</p> <p>3) 研修医セミナー(6回) 医療安全について</p> <p>4) 看護師研修 ・レベル 研修(3回) ○心電図モニタの取り扱いについて ○安全な療養環境(チューブトラブル・転倒転落の予防) ○静脈注射看護師育成研修(安全対策) ・レベル 以上(1回) ○BLS研修:看護部教育と協働 ・看護師対象(1回)</p> <p>5) 看護補助者研修(1回) ○医療安全について</p> <p>6) 育休復帰予定者(1回) ○医療安全について(復習と最近の動向)</p> <p>7) 新任リスクマネジャー研修(1回) ○リスクマネジャーの役割について、インシデント報告システム機能説明</p> <p>8) 病院運営協力業者(清掃業者)向け研修(1回) ○病院で働く職員に必要な医療安全</p> <p>9) BLS研修 ○医師・看護師以外の医療従事者対象(1回)</p> <p>10) ICLS研修 ○医療従事者対象(1回)</p>
<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理室員会議では、週報をもとに事例の確認及び改善策等の検討を行った。(48回開催) ・ 拡大医療安全管理室員会議では、院内での専門的検討が必要と判断した事例について、原因究明に関することや再発防止策の提言に関することについて審議した。(5回開催) ・ 各部署のリスクマネジャーで構成されるリスクマネジャー会議では、医療安全に関する業務改善等の情報共有、意見交換等を行った。(5回開催)

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院感染対策に関する基本的な考え方 2. 病院感染対策の組織 3. 職員教育・研修に関する基本方針 4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針 5. 病院感染発生時の対応に関する基本指針 6. 患者への情報提供と説明 7. 病院感染対策の推進 	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染の発生状況、抗菌薬の使用状況について 病院感染対策の検討および推進に関すること 病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること 病院感染対策に係る啓発及び広報に関すること 病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること</p>	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 18 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全職員対象研修会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策：「新型コロナウイルス感染症における感染対策」 ・ 抗菌薬適正使用：「外来での経口抗菌薬使用を考える」 第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策：「感染制御の基本・トピック」 ・ 抗菌薬適正使用：「抗菌薬適正使用のための微生物検査」 2) 新採用・中途採用職員研修（全職種）（1回） <ul style="list-style-type: none"> 医療関連感染対策の基本 3) 研修医対象 <ul style="list-style-type: none"> 手指衛生、個人防護具着脱の方法と実際（1回） PPE着脱指導 N95マスクフィットテスト（1回） 抗菌薬適正使用（2回） 4) 新人看護師研修（1回） <ul style="list-style-type: none"> ○手指衛生、個人防護具着脱の方法と実際 5) 看護師研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ レベル 研修 ○感染対策について シミュレーション（1回） ○血管内留置カテーテル関連血流感染、針刺し防止対策（1回） ・ レベル 研修 ○医療関連感染 講義と演習（1回） 6) 看護補助者研修（1回） <ul style="list-style-type: none"> 業務における感染対策 7) 育休復帰予定者対象育児復帰支援プログラム(4回) <ul style="list-style-type: none"> 感染対策について 	

8) 外部委託業者責任者対象(1回)
新型コロナウイルス感染症対策について

9) 病院運営協力業者(清掃業者)向け研修(1回)
業務における感染対策

感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
・ その他の改善のための方策の主な内容:

- ・ 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価
- ・ アウトブレイクを疑う際の、各部署からの情報収集及び情報共有の強化、対策の指導徹底
- ・ ICTミーティング(49回開催)と病院内ラウンドによる医療関連対策の徹底
- ・ 抗菌薬の適正使用推進のための抗菌薬適正使用支援チームによる抗菌薬投与患者の評価および介入
- ・ 職員対象に予防接種(インフルエンザ、B型肝炎ワクチン、麻疹・風疹・水痘・ムンプスワクチンなど)の実施

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2020年4月1日 新入職員研修会 2020年6月3日 新規採用看護師研修会 2020年7月6日～7月31日 医療安全・感染対策等研修会 2021年2月15日～3月12日 医療安全・感染対策等研修会</p>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <p>・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>業務手順書は電子カルテのオンラインマニュアル内に掲載して、常に業務手順が確認できるようにしており、必要に応じて随時改訂を行っている。また、業務手順書に準拠したチェックリストを作成して、年2回(2020年度は7月および2月)、院内全部署を対象として業務の実施状況を評価している。業務手順書が遵守できていない状況が認められれば、業務の見直し、改善を行うよう指導している。</p>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p>生命倫理を伴う緊急医療行為実施協議会にて承認のうえ、2021年1月にBKウイルスによる出血性膀胱炎に対しシドフォビル注射薬を使用した。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 50 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規購入医療機器（19回） 閉鎖式保育器（1回） 人工呼吸器（9回） 血液浄化機器（1回） 高エネルギー放射線発生装置（3回） 診療用放射線照射装置（3回） 人工心肺装置及び補助循環装置（3回） 除細動装置及び自動体外式除細動器（1回） その他（気管支鏡消毒洗浄器、顕微鏡、ハイフローセラピー機器、脳低温療法装置 アーティックサン、体外式ペースメーカー、ペースメーカー、ネーザルハイフロー）（10回）</p>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>人工呼吸器、人工心肺装置、除細動装置、十二誘導心電計、血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザー、保育器は使用毎の保守点検を医療機器センターで実施 放射線装置は期限毎に業者と保守点検の契約を結び実施（機器により、半年から2年毎）</p>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>人工呼吸器について ：医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを毎日実施 呼吸療法支援チームの活動として、病棟の人工呼吸器管理患者のラウンドを週2回実施 会議では人工呼吸器関連のインシデント報告や情報を検討し院内に周知 医療機器の添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録を実施し情報収集 医療機器に関する院内の安全情報をメーカーやMEセンターから医療安全管理室に集めており、必要に応じて、院内全体または該当部署に「安全情報」「医療安全トピックス」の配付などにより周知 医療機器の不具合、医療機器に関連した健康被害が発生した際も医療安全管理室に報告</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	○有・無
<p>・責任者の資格(○医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理の統括責任者として医療安全管理責任者を置き、医療安全を担当する副院長をもって充て、医療安全管理室及び医療安全管理委員会を統括している。医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は医療安全管理委員会の構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有(3名)・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>厚生労働省、PMDA、製薬会社、書籍、インターネット等より、常に最新の医薬品情報を収集している。収集した情報は評価・加工して、DI ニュースにより医療スタッフ(医師、看護師等)へ情報を発信している(2020年度は59件のDI ニュースを発信している)。全職員への周知のため、周知確認表に基づいた閲覧確認を行っており、また、各病棟担当薬剤師からも直接情報提供を行っている。院内ホームページや電子カルテ医薬品情報システム(JUSDI)では、全ての医療スタッフが最新の添付文書等を閲覧できる環境を整備するとともに、各種の医薬品情報を随時配信している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>1. 未承認薬の使用 院内で使用されている未承認薬としては、院内製剤(クラス : 14 品目、クラス : 14 品目)および治験薬がある。院内製剤は、倫理審査委員会の審査・承認後に運用を開始している。治験薬は治験審査委員会の審査・承認後に使用している。なお、個人輸入等による未承認薬については、未承認新規医薬品評価委員会を設置している。</p> <p>2. 禁忌・適応外薬の使用 禁忌・適応外薬の使用は原則として認めていない。やむを得ず使用する場合は臨床倫理室の審査・承認が必要である。申請方法としては、(1)日常診療の中で科学的根拠があり比較的安全性の高い薬剤は“疾患ごと”に審査・承認しており、(2)治療抵抗性があり生命の危険が伴う場合に延命等の目的で適応外使用する場合(主に抗がん剤や免疫抑制剤)は“症例ごと”に「生命倫理を伴う緊急医療行為実施協議会」にて審査・承認後に使用している。</p> <p>なお、これまでに疾患ごとの適応外使用は 67 件が審査・承認されており、症例ごとの禁忌・適応外使用は 2020 年度は 58 件が審査・承認されている。事例については治療経過や効果判定も含め薬剤部のデータベースに記録している。</p> <p>・担当者の指名の有無(○有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長) (所属：臨床倫理室，職種 教員)</p> <p>(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長) (所属：臨床倫理室，職種 医師)</p> <p>(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長) (所属： ，職種)</p> <p>(所属：臨床倫理室，職種 教員) (所属： ，職種)</p>	

医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 	
診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・診療録の保管及び管理に関すること。 ・診療録の内容点検及び記載指導に関すること。 ・診療録管理室が管理する診療録の閲覧に関すること。 ・その他診療録の管理に関すること。 	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（11）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名 <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： <p>医療安全管理部門では以下の業務を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 ○患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 ○事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 ○医療の安全に係る啓発及び広報に関すること。 ○医療の安全確保のため、医療現場との連絡調整に関すること。 ○医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること。 ○インシデントに関する情報の収集及び分析、関係資料の作成に関すること。 ○医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること。 ○医療の安全確保のための院内の体制整備に関すること。 ○死亡退院事例の検証に関すること。 ○医療安全管理委員会に係る事務に関すること。 ○医療の安全確保に資する診療状況の把握及び職員の医療安全の認識状況の確認に関すること。 ○その他医療の安全対策及び医療の質の向上に関すること。 <p>○医療安全に資する診療内容のモニタリングの具体例 4項目（24時間以内の再手術件数、術後の肺塞栓発生件数、入院患者の転倒・転落発生率及び負傷率、ベンゾジアゼピン系経口薬内服状況）についてモニタリングを実施し、毎月の医療安全管理委員会にて報告している。</p> 	

○従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例
全職員対象の医療安全研修会において小テストを実施し、医療安全の認識についてモニタリングを実施している。また、院内ラウンドにおいて、医療安全に関するトピックスについての周知状況のチェックを実施している。

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
診療科から申請書が臨床倫理室に提出され、高難度新規医療技術導入審査部門で確認後、その都度病院長が決定した委員による高難度新規医療技術等評価委員会に諮り、適否の意見を受け、最終的に部門長及び臨床倫理室長が適否を決定し、診療科へ通知する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
診療科から申請書が臨床倫理室に提出され、未承認新規医薬品導入審査部門で確認後、その都度病院長が決定した委員による高難度新規医療技術等評価委員会に諮り、適否の意見を受け、最終的に部門長及び臨床倫理室長が適否を決定し、診療科へ通知する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

<p>入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 285 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 47 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <p>○医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 ○医療安全管理のための職員研修に関すること。 ○医療事故及びインシデントに関する情報の収集並びに原因の究明のための調査及び分析に関すること。 ○前号の分析の結果を活用した改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。 ○前号の改善のための方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 ○入院患者の死亡報告及び3b以上のインシデント報告の実施状況の確認に関すること。 ○前号の実施状況が不十分な場合における職員への研修及び指導に関すること。 ○医療安全マニュアルの作成に関すること。 ○その他医療事故防止に関すること。</p>
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/> 有）（病院名： 名古屋大学医学部附属病院 ）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/> 有）（病院名： 名古屋市立大学医学部附属病院 ）・無） ・技術的助言の実施状況 <p>特段なし（訪問調査は中止となったため、訪問による立入り・受入れは実施せず、紙面調査のみ実施）</p>
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <p>病院入口近くの医療連携センター・がんセンター内に相談窓口を設置し、看護相談、医療福祉相談、がん相談、女性専門相談、セカンドオピニオン、要望・苦情等相談を行っており、看護師、メディエーター、MSW、事務職員により対応しており、医療安全に関する相談は医療安全管理室に連絡し対応している。</p>
<p>職員研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <p>年2回開催している医療安全・感染対策等研修会にて特定機能病院の承認要件に関する研修を実施している。新規入職者を対象に、接遇・感染対策・安全管理・医薬品・職業倫理等の研修を入職時に実施している。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること (の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する「令和2年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

一般病院2の認定期間は、2016年9月25日～2021年9月24日である。

今回、一般病院3による評価を2021年8月25日～27日に受審し、10月末頃に結果報告を受ける予定である。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

結果報告を受領次第、内容に基づき公表することとする。

・評価を踏まえ講じた措置

結果報告を受領次第、内容に基づき対応することとする。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

医学部附属病院長候補者選考基準

令和2年4月発足の国立大学法人東海国立大学機構のスタートアップビジョン、岐阜大学の到達点と東海国立大学機構におけるビジョン、医学部附属病院が掲げる病院理念及び基本方針を実現し、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担うため、岐阜大学医学部附属病院長選考規程第3条第2項に定める病院長候補者選考基準として、以下のとおり定める。

1. 人格が高潔で、学識が優れ、医学部附属病院内外の信頼を得ることができる者であること。
2. 医学部附属病院における学生への教育、学術研究及び社会貢献に関して、調和のとれた運営を行うことができる者であること。
3. 医学部附属病院の運営にあたり、構成員の意見に耳を傾けつつ、迅速な意思決定を行う強い指導力を発揮することができる者であること。
4. 診療、臨床教育、臨床研究など大学病院特有のミッションに精通し、医療機関の管理者としてリスク対応を含めた高いマネジメント能力を持ち、多職種からなる構成員に対して、優れたリーダーシップを発揮できる者であること。
5. 医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。
6. 医学部附属病院を含む病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理上必要な資質及び能力を有し、医学部附属病院の安定的財政基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的運営能力を有する者であること。
7. 国際的な視野を持って医学部附属病院の運営を行うことができる者であること。
8. 医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに、中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し、医学部附属病院の課題について、学長と連携して取り組むことができる者であること。
9. 岐阜県における中核病院として、岐阜県や岐阜県下の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献するとともに、産学連携を推進し、新しい医療の開発・発展を通じて、国際社会と地域創生に貢献する姿勢及び指導力等を有する者であること。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法
ホームページにて公表
https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/uploads/docs/election_rules.pdf

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 ホームページにて公表 https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/guide/election.html 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関 係
松田 典明	岐阜大学	○	副学長のうちから学長が指名した者	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
中島 茂	岐阜大学		医学系研究科長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
秋山 治彦	岐阜大学		医学部教授会構成員のうちから選出された者	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
清水 雅仁	岐阜大学		医学部附属病院科長会議構成員のうちから選出された者	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
大友 克之	朝日大学		学長が委嘱する学外の有識者 附属病院を有する大学の学長として、病院経営等について深い見識を有している。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
富田 栄一	一般社団法人岐阜 県病院協会 岐阜市民病院		学長が委嘱する学外の有識者 岐阜大学医学部附属病院外部監査 委員会委員長として、本院の医療 安全管理体制等について深い見識 を有している。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
平木 省	岐阜県		学長が委嘱する学外の有識者	

			岐阜県行政の担当責任者として、 岐阜県の医療行政について深い見 識を有している。	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
--	--	--	--	---------------------------------------

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> 一 本病院の運営方針に関する事。 二 本病院の中期目標、中期計画及び年度計画に関する事。 三 本病院の予算及び決算に関する事。 四 本病院の組織に関する事。 五 その他本病院の運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 翌月の科長会議、医局長等合同会議での議事録の配布、学内ホームページへの議事録の掲載。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・公表の方法 東海国立大学機構の規則集に関する情報ページに掲載している。 ・外部有識者からの意見聴取の有無 ((有)・無) 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
吉田 和弘	○	医師	病院長
森重 健一郎		医師	副病院長
秋山 治彦		医師	副病院長
土井 潔		医師	副病院長
清水 雅仁		医師	副病院長
廣瀬 泰子		看護師	副病院長
下畑 享良		医師	病院長補佐
矢部 大介		医師	病院長補佐
古家 琢也		医師	病院長補佐
早野 美里		事務職員	事務部長
大倉 宏之		医師	科長
森田 浩之		医師	科長
岩田 尚		医師	科長
二村 学		医師	科長
岩間 亨		医師	科長
小川 武則		医師	科長
加藤 久和		医師	科長
坂口 裕和		医師	科長
塩入 俊樹		医師	科長
松尾 政之		医師	科長

飯田 宏樹		医師	科長
大西 秀典		医師	科長
原 明		医師	部長
小倉 真治		医師	センター長
古井 辰郎		医師	センター長
馬場 尚志		医師	センター長
熊田 恵介		医師	室長
鈴木 昭夫		薬剤師	部長
牛越 博昭		医師	室長
塚田 敬義		教育職員	室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
 - 1 本病院に、病院長を置く。
 - 2 病院長は、院務をつかさどり、管理運営の任に当たる。
 - 3 病院長は、本病院の予算を編成し、その予算の適切な執行に責任を持つ。
 - 4 病院長は、病院で行われる診療について、その実施状況の報告を求め、又は自ら調査し、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる。
 - 5 病院長は、次条に定める副病院長が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、副病院長の解任について学長を通じて機構長に申し出ることができる。
 - 一 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。
 - 二 職務上の義務違反があるとき。
 - 三 その他副病院長たるに適しないと認めるとき。
 - 6 病院長は、第4条の病院長補佐、第4条の2の病院長特別補佐、第6条の科長、第9条の部長及びセンター長、第10条の高度救命救急センター長又は第12条の薬剤部長(以下「病院長補佐等」という。)が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、病院長補佐等を解任することができる。
 - 一 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。
 - 二 職務上の義務違反があるとき。
 - 三 その他病院長補佐等たるに適しないと認めるとき。
 - 7 病院長は、病院長補佐等を解任したときは、その理由を明らかにしなければならない。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - 副病院長
病院長の職務を補佐し、及び病院長の命を受け、職務（研究、経営、医療安全・危機管理、地域医療、看護等）を分担する
 - 病院長補佐
病院長及び副病院長を補佐し、並びに病院長の命を受け、特定の業務（教育、研修、働き方改革、国際、広報等）を掌理する
 - 病院長特別補佐
病院長及び副病院長を補佐し、並びに病院長の命を受け、特定の業務（経営）を掌理する

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日本医療機能評価機構の主催する特定機能病院管理者研修へ病院長、医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医薬品安全管理責任者が参加する。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 外部監査委員会が年2回、医療安全管理の目標達成状況や、院内のインシデントや死亡退院、死産事例等の報告を受け、特定機能病院としての医療安全業務の実施状況を監査する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法： 岐阜大学医学部附属病院ホームページに掲載している。 https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/guide/gaibu_kansa.html</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
富田 栄一	岐阜市民病院	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・(無)	1
中西 敏夫	弁護士法人森川・鈴木法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・(無)	1
清住 一孝	柳戸会		医療を受ける者	有・(無)	2
王 志剛	岐阜大学		機構長が指名する副学長	(有)・無	3
青木 昇平	つかさ会		医療を受ける者	有・(無)	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

監査室及び監事による定期・臨時の監査により、法令順守状況を監査するとともに、会計監査及び経営上の重要な事項については、運営会議への報告を行っている。

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

東海国立大学機構の規則集に関する情報ページに掲載している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 東海国立大学機構役員会をもって充てることとし、病院の経営に関する事項については、病院長又は副病院長が出席し審議を行うこととしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年26回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年 2回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ） ・ 公表の方法 東海国立大学機構ホームページの規則集に関する情報ページに掲載している。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0 件)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法
ポケットマニュアルおよび専用のホームページで周知を行っている。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院の広報活動においては「医学系研究科・医学部情報委員会附属病院部会」という委員会で広報方針を決めており、各媒体(広報誌, プレスリリース, 記者会見, 病院ホームページ)のターゲットを明確にして戦略的に広報を展開している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>患者相談窓口部門として医療連携センターの医師, 看護師, メディエーター, ソーシャルワーカー, 事務職員と院内の医療安全管理部門から医師, 看護師の他に医療支援課 事務職員で「患者支援カンファレンス」を週1回程度で開催し患者等の相談内容について連携し対応している。</p>	

(様式第 8-3)

3 岐大病総第 099 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人東海国立大学機構
機構長 松尾 清一

岐阜大学医学部附属病院の第三者による評価を受審する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 受審予定である第三者評価

- | |
|--|
| <p>① 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、一般病院 3 による評価</p> <p>2 Joint Commission Internationalが実施する、JCI 認証による評価</p> <p>3 ISO 規格に基づく、ISO 9001 認証による評価</p> |
|--|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に を付けること。

2 第三者評価を受けるための予定措置

<p>一般病院 2 の認定期間は、2016 年 9 月 25 日～2021 年 9 月 24 日である。</p> <p>今回、一般病院 3 による評価を 2021 年 8 月 25 日～27 日に受審し、10 月末頃に結果報告を受ける予定である。</p>
